



都道府県記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和7年3月19日（水）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
観光資源活用課	観光コンテンツ係 (岐阜フィルムコミッション)	赤座 可児	内線 3934 直通 058-272-8396 FAX 058-278-2674
長良川スタンドバイミーの会	宣伝担当	長村	携帯 080-6509-4546

映画『光る川』のロケーションマップが完成！

県では、岐阜フィルムコミッションとして、県内での映画、テレビ番組などの撮影を通じ、新たな地域資源の活用や観光交流につながるよう、撮影の支援を行っています。

この度、岐阜市出身の作家、松田悠八氏の小説『長良川スタンドバイミー—九五〇』を原作とする、全編を県内で撮影した映画『光る川』の公開に際し、映画製作団体「長良川スタンドバイミーの会」が、映画の美しい撮影地を実際に巡っていただくためのロケーションマップを作成しました。

記



1 撮影ロケーションマップ

別添のとおり

2 初回配布場所

令和7年3月22日（土）から上映開始となる以下の劇場3館及び県庁（10階西エレベーターホール 観光PRパンフレットラック）

- ・ユーロスペース（東京都渋谷区円山町1-5）
- ・岐阜柳ヶ瀬 CINEX（岐阜市日ノ出町2-20）
- ・ミッドランドスクエア シネマ2（名古屋市中村区名駅4-11-27）

※順次、他の上映館でも配布する予定です。

3 その他

映画の公開情報等については、公式サイトを御確認ください。

<https://www.culture-pub.jp/hikarukawa/>（映画『光る川』公式サイト）



【参考1】映画『光る川』について

令和5年9月に長良川支流部を中心に全編岐阜県内で撮影。長良川と川を囲む一帯に暮らす人々を描いた『長良川スタンドバイミー一九五〇』を原作とするオリジナル脚本

- ・製作：長良川スタンドバイミーの会
- ・原作：『長良川スタンドバイミー一九五〇』
- ・監督・脚本：金子 雅和（かねこ まさかず）

※初長編監督作『アルピノの木』（平成28年）がフィゲイラフィルムアート2017海外映画祭最優秀長編劇映画賞（グランプリ）等、9カ国の映画祭で計20もの賞を受賞。長編二作目『リング・ワンダリング』（令和4年）が第52回インド国際映画祭金孔雀賞（最高賞）他、4カ国の映画祭で計4つの賞を受賞。

- ・制作プロダクション：プロジェクト ドーン
- ・配給：カルチュア・パブリッシャーズ
- ・主なキャスト：華村あすか、葵揚、安田 顕

○国際映画祭での受賞等実績

- ・第62回ヒホン国際映画祭（スペイン）ユース審査員最優秀長編映画賞
- ・第2回環太平洋国際映画祭（沖縄県）オフィシャルコンペティション ノミネート
- ・第45回ポルト国際映画祭（ポルトガル）オリエントエクスプレス部門最優秀作品賞

【参考2】原作小説『長良川スタンドバイミー一九五〇』について

長良川で過ごした弾けるような真夏の日々。驚嘆と興奮に満ちた少年世界に、ふと影を落とす大人たちの痴情と情交。おおどかな岐阜弁を駆使して輝ける時代を描く少年小説。

- ・著者：松田 悠八（まつだ ゆうはち）

※岐阜市生まれ。岐阜高校、早稲田大学文学部を卒業後、出版社勤務を経て作家活動に入る。

『長良川スタンドバイミー一九五〇』のほか、その続編となる『円空流し』、『長良川―修羅とせずくと女たち』などを執筆。令和6年には、初のヤングアダルト向け作品となる『カミオカンデの神さま』を出版。

- ・出版：株式会社作品社 平成16年11月20日第一刷発行
- ・受賞歴：第3回小島信夫文学賞（平成16年）

【参考3】公開記念舞台挨拶について

以下のとおり、金子監督らによる公開記念舞台挨拶が予定されています。詳細は各劇場公式サイトを御確認ください。

○ユーロスペース（東京都渋谷区円山町1-5）

令和7年3月22日（土）10：00～の回上映後、12：40～の回上映前

○岐阜柳ヶ瀬 CINEX（岐阜市日ノ出町2-20）

令和7年3月23日（日）9：50～の回上映後、13：20～の回上映前

○ミッドランドスクエア シネマ2（名古屋市中村区名駅4-11-27）

令和7年3月23日（日）13：40～の回上映後